

今江まさひこ

ご意見をお寄せください

事務所 〒523-0837
近江八幡市大杉町30番地1
TEL (0748)36-5788
FAX (0748)36-5794
http://www.m-imaie.com



県民の皆さんとともに温暖化防止のための取り組みを積極的に進め 温室効果ガスの大幅な削減を実現しましょう



昨年は異常気象の影響と思われる水害により東日本を中心に各地で河川が氾濫し、多くの人命が奪われました。また、これまでになく避難中に車が水没したことによる「車中死」が多くあり、あらためて災害時の避難体制の課題も浮き彫りになりました。洪水時に自分の住んでいる場所がどの程度浸水するかを示すハザードマップの啓発が十分でなかったという反省もあります。今後、地球温暖化の進行に伴い、滋賀県でもこれまで経験したことがない豪雨による被害が予測されますが、河川改修などのハード対策を強化するとともに、いかなる水害からも県民の命を守る「ダムだけに頼らない流域治水政策」を今年も進めて参ります。

地球温暖化対策については昨年12月に国連の「COP25」が開催されましたが、わが国からは批判の多い石炭火力発電の今後の利用や温室効果ガス削減目標については言及されることはなく、参加国からは落胆の声があげられました。一方、地方自治体では昨年の12月20日現在で29の自治体が2050年二酸化炭素排出実質ゼロを表明しています。

滋賀県では平成29年に改定された「滋賀県低炭素社会づくり推進計画」において排出削減・吸収量の確保により2030年度において2013年度比23パーセント減の水準を目指すとされていますが、琵琶湖において全層循環が北湖の一部で確認できないなど様々な分野で気候変動の影響が表れていることを考えると思い切った温室効果ガス削減対策を実施する必要があります。

県、県民、事業者その他あらゆる関係者が連携して様々な分野で戦略的な取り組みをしていきたいと思います。

今江まさひこのプロフィール

1954年6月29日生まれ（満65歳）
市立金田小学校、市立南中学校を経て県立彦根東高等学校、同志社大学法学部卒業後、近江八幡市職員となり、議会議務局長、秘書広報課長を歴任。
2007年4月滋賀県議会議員に初当選。（現在4期目）
この間、総務・政策常任委員長、防災・エネルギー対策特別委員長、関西広域連合議会議員などを歴任。

高等専門学校の新設に向けて

（昨年9月定例会議代表質問から）

昨年の9月定例会議の代表質問でわが会派から本県に高等専門学校を設立することについて質問し、知事からは庁内に「高等専門人材育成機関検討会」を立ち上げ情報収集や課題整理を行い、産業界の意見も聞きながら検討していくとの答弁がありました。

高等専門学校（以降、高専）は、我が国の高度経済成長における工業の急速な発展を支える高度技術者を育成することを目的として、1962年に国立の12校が設立され、現在、国内には、国立51校、公立3校、私立3校、合計57校がありますが、滋賀県を含む5県に高専がありません。この様な状況下、持続可能なものづくり県・滋賀の構築を目指して、また、ポスト義務教育を担う教育機関として、高専の創設を要望する声が挙がっています。

地方創生が叫ばれ、ICT（情報通信技術）が産業競争力の源泉となる中、自立した滋賀の産業を構築するために地域に立脚したICT教育プログラムに基づく教育環境を提供し、AI（人工知能）やエネルギー分野などの人材育成をすることが重要です。

私もあらゆる機会をとらえてその重要性を訴えています。昨年末には自動車産業を支えておられる自動車問題政策研究会の皆さんに電気自動車やAIによる自動運転などの研究開発に必要な人材育成のための高専新設の必要性について講義させていただきました。今後もさらに条件整備のため努力して参ります。



アグリパーク竜王で開催された自動車問題政策研究会政策フォーラムで講演しました。

手話言語条例の制定をめざして

（昨年11月定例会議一般質問から）

現在、すべての都道府県知事が参加する手話を広める知事の会や全国手話言語市区長会が結成され、聴覚障害者の一層の自立と社会参加のため、手話が言語と認められ、聴覚障害者が日常生活において安心して手話を用いる環境を作るよう手話言語法を制定するための提案や要望がされています。

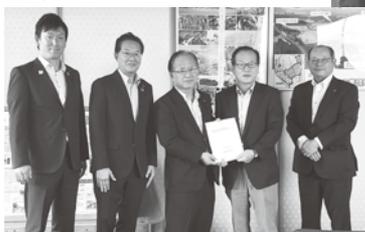
また、全国手話言語市区長会は2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり聴覚障害者に対する情報保障の環境整備は我が国における大きな課題となっているという認識のもと、国に「手話言語法」「情報コミュニケーション法」制定を求め、全国に関連条例の制定を拡大するための取り組みを進めています。

まさに、全国的に手話言語法制定や条例制定に向けて機運が高まっているときにあたり、本県でも手話言語条例を制定し、すでに施行されている共生社会づくり条例とともに滋賀県の障害者福祉の施策が推進され、障害者差別の解消に向かって着実に進むよう知事に求めました。

令和2年度予算編成に向けて近江八幡市と竜王町から要望をお聞きしました。

滋賀県の令和2年度予算に反映させるため、チームしが関係議員とともに近江八幡市役所並びに竜王町役場を訪問し、それぞれの重点要望事項などをお聞きしました。特に両市町の共通課題である日野川の抜本改修については各地で豪雨災害が頻発する中で住民の皆さんの生命と財産を守るための重要課題となっています。

このほか西の湖周辺における一体的な環境整備、滋賀高等専門学校の設置、合併処理浄化槽にかかる交付金、竜王インターチェンジ周辺の機能向上など、福祉、医療、農業振興、子育て・教育、まちづくりなど多岐にわたる要望をお聞きしました。これらの要望事項についてはチームしが県議団として三日月知事をはじめ関係部局に対し実現を求めました。



近江八幡市長と竜王町長から要望書をいただきました。



チームしが県議団で三日月知事に令和2年度予算について要望しました。